

私たちは、「休暇村の環境保全に関する基本理念と取組方針」を策定し、ブランドスローガン『自然にときめくリゾート』の具現化を目指しながら、事業を通して地域への貢献とサステナビリティの実現に向けた以下の取組みを実践してきました。

ブランドスローガンの詳細はこちらから→



「休暇村の環境保全に関する基本理念と取組方針」

《基本理念》

- 休暇村は、自然公園の利用拠点として、多くの皆様に「自然とのふれあい」の機会を提供していきます。
- 休暇村は、豊かな自然を守るため、お客様のご協力を得ながら「環境に配慮した行動」を進めていきます。
- 休暇村は、自然公園の環境保全や地域振興のため、「地域への貢献」に努めていきます。
- 休暇村は、持続可能な開発目標(SDGs)に関わる取組みを進めています。

《取組方針 / 関連する主なSDGs》

○自然とのふれあいの推進



- ・休暇村周辺の自然を紹介する自然観察会や学習会、野外でのレクリエーション活動など、多様な自然体験・学習の場を提供します。
- ・自然公園の自然環境や地域の歴史・文化・産業を紹介し、これらを訪ねる小旅行を企画するなど、地域のエコツーリズム推進を図ります。

○環境に配慮した行動



- ・休暇村で使用する営業用の物品は、エコマークその他の環境に配慮した商品を優先し、グリーン購入を進めます。
- ・お客様や取引先のご協力を得ながら、廃棄物の発生抑制とリサイクルを進めます。
- ・エネルギー使用の合理化、省エネ型機器の採用など、光熱水の節減を図ります。
- ・休暇村の建物は、自然公園の景観に調和した形状、色彩とするように心掛けるとともに、環境負荷の少ない設備や、ロングライフ施設の整備に努めます。

○地域への貢献



- ・自然公園管理機関や地元諸団体と連携して、地域の環境保全や観光振興の活動に積極的に参加します。
- ・環境関係団体に活動の場を提供するなど、地域の環境保全活動に協力します。

○取組みの体制整備と公表



- ・各部と連携をとりつつ、環境保全担当部が中心となり、取組みの定期的な点検と改善を進めます。
- ・職員に対する教育研修を継続し、取組みの徹底と環境意識の高揚を図ります。
- ・以上の方針に基づく取組みの状況は、毎年度取りまとめて、公表します。



自然ふれあい等推進事業について

- ・星空や自然の観察会、野外レクリエーション、お散歩会、地域の歴史・文化・産業にふれあう多様な「体験プログラム」を実施し、自然公園や地域の情報を積極的に紹介しました。

プログラムの区分	実施回数	参加人数	〔代表的な実施事例〕
朝のお散歩会など自然散策ガイド	5,399回	40,001人	・「羽黒山石段ウォーキング」 (庄内羽黒)
休暇村周辺の自然環境の観察や紹介	6,524回	122,014人	・「ホテル再生プロジェクト」 (奥武蔵)
地域の歴史・文化・産業の体験や紹介	2,407回	28,235人	・「和菓子づくり体験」 (紀州加太)
クラフト体験やコンサート等のやすらぎイベント	4,823回	36,860人	・「はなしのぶコンサート」 (南阿蘇)
合 計	19,153回	227,110人	ほか

環境に配慮した行動について

①内容の評価

グリーン購入ネットワーク (GPN) の「ホテル・旅館エコチャレンジ・チェックリスト」に準ずる5つのカテゴリにもとづき、環境に配慮した行動に努め、各休暇村の状況の評価しました。

カテゴリー	評価点
環境への取組姿勢	4.3
飲食関係の環境配慮	2.8
省資源・リサイクル・節水	4.1
省エネルギー・CO ₂ 削減	2.7
グリーン購入・化学物質	3.3

※ 各カテゴリーの数値は、5点満点中の全休暇村の平均値

②食品廃棄物の発生抑制とリサイクル

法令に基づき、食品廃棄物等(生ゴミ・廃食用油)の発生量抑制と、肥料や飼料等への再生利用を促進しました。

食品廃棄物発生量の減少に伴い、再生利用等実施率は前年度より上昇しました。

(基準実施率目標 53.0%に及びませんでした。業種別目標 50.0%をクリアしました)

発生量・再生利用実施量など		
食品廃棄物等の発生量	644.1	t
内再生利用等の実施量	189.4	t
再生利用等の実施率	51.1	%
食品廃棄物等	旅館業	0.483 Kg/人
の発生原単位	食堂レストラン業	67.3 Kg/百万円

※2007年改正の食品リサイクル法に定める計算方法による

③エネルギー使用量の抑制

石油・ガス・電気・水の適正な使用、業務効率化、省エネ機器の設置等を推進することにより、抑制に努め、エネルギー使用にかかる原単位(使用量合計÷営業収益)は前年比 1.0%減の目標に対し 4.4%減となりました。

使用量・原単位・排出量		
石油 (重油・軽油・灯油・ガソリン)	5,694	KL
液化石油ガス	405	t
電気 (買電)	33,320	千 Kwh
原油換算値 (使用量合計)	13,640	KL
エネルギー使用にかかる原単位	0.62	KL/百万円
原単位の対前年度比率	95.6	%
温室効果ガス算定排出量	31,380	t -CO ₂

※2014年施行の改正省エネ法に定める計算方法による

④SDGs への取組み

プラスチック製品の使用抑制、CO₂排出量の削減(設備の更新、フードマイレージ推進)

に取り組みました。また、ライトダウンイベント等を実施し、持続可能な社会実現に向けたお客様との環境保全への思いの共有、従業員の意識醸成を図りました。

地域への貢献について

- ・地元での清掃活動をはじめとして、地域振興組織・観光イベントへの参加協力、地域のみなさまへの施設開放、さらには名産品等の紹介、観光資源の掘り起こし等、地域を重視した活動を積極的に行いました。
- ・地域の情報をSNSやマスコミ広報を通じて積極的に発信し、地域の活性化に協力しました。
- ・国立公園内休暇村では、引き続き「国立公園オフィシャルパートナー」として、国内外への情報発信を通じて自然公園事業に協力しました。